

『心理学検定 基本キーワード [改訂版]』訂正表 (初版第10~14刷用)

●初版第11刷で訂正済み

- ・ p.7 25行目 クロンバックの α 係数であり、 → 最後の方法はクロンバックの α 係数であり、
- ・ p.8 12-13行目 予測的妥当性、併存的妥当性、弁別的妥当性などに分類できる。 → 予測的妥当性、併存的妥当性などに分類できる。
- ・ p.8 20行目 これと対照的なのが構成概念妥協性に属する**弁別的妥当性**であり → これと対照的なのが構成概念妥当性に属する**弁別的妥当性**であり
- ・ p.100 13-14行目 「新版 K 式発達検査」(1980)を経て「新版 K 式発達検査 2001」(2002)に改訂され → 現在「新版 K 式発達検査 2020」(2021)に改訂され
- ・ p.194 18-20行目 いじめについての文部科学省の定義を、いじめ防止対策推進法の施行に伴う2013(平成25)年度からの変更に合わせて以下のとおり訂正しました。
いじめについて文部科学省は「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義している。
- ・ p.343 欄外 「**検察官送致**」について、少年法等の一部を改正する法律の施行(2022年4月1日)に基づき記述を追加しました。
…なお、2022(令和4)年4月施行の改正少年法において、民法上の成年年齢に達する18・19歳は新たに「特定少年」と位置づけられ、検察官送致される対象事件が拡大されることとなった。
- ・ p.347 欄外 「**少年院法**」について、少年法等の一部を改正する法律の施行(2022年4月1日)に基づき記述を追加しました。
…なお、2022(令和4)年4月施行の改正少年院法に基づき、18・19歳の「特定少年」で保護処分の執行を受ける者を収容する第五種の少年院が設置される。

●初版第12刷で訂正済み

- ・ p.85 20行目 母親をから引き離された → 母親から引き離された
- ・ p.100 13行目 「K 式発達検査」(1950~1951)は、現在「新版 K 式発達検査 2020」(2021)に改訂され → 「K 式発達検査」(1951)は、現在「新版 K 式発達検査 2020」(2020)に改訂され

●初版第13刷で訂正済み

- ・ p.108・183・257 WPPSI、WISC、WAIS を最新の日本版の内容に更新しました(以下、*は補助検査、**はオプション検査)。

概要: WPPSI-III…指標間や下位検査間のディスクレパンシー(得点差)比較、および下位検査レベルでの強みと弱みの判定によって、プロフィールをより詳細に分析することができる。2歳6か月~3歳11か月適用は、言語理解指標(VCI)が〈ことばの理解〉〈知識〉、知覚推理指標(PRI)が〈積木模様〉〈組合せ〉からなり、語い総合得点(GLC)に〈絵の名前*〉〈ことばの理解〉が加わる。4歳0か月~7歳3か月適用は、言語理解指標(VSI)が〈知識〉〈単語〉〈語の推理〉〈理解*〉〈類似*〉、知覚推理指標(PRI)が〈積木模様〉〈行列推理〉〈絵の概念〉〈絵の完成*〉〈組合せ*〉、処理速度指標(PSI)が〈符号〉〈記号探し*〉からなり、語い総合得点に〈ことばの理解**〉〈絵の名前**〉が加わる。

WISC-IV…合成得点(全検査IQと4つの指標得点)や下位検査評価点に加え、7つのプロセス得点が算出でき、検査結果についての詳細な情報が得られる。適用範囲は5歳0か月~16歳11か月。各指標は、言語理解指標が〈類似〉〈単語〉〈理解〉〈知識*〉〈語の推理*〉、

知覚推理指標が〈積木模様〉〈絵の概念〉〈行列推理〉〈絵の完成*〉、ワーキングメモリー指標（WMI）が〈数唱〉〈語音整列〉〈算数*〉、処理速度指標（PSI）が〈符号〉〈記号探し〉〈絵の抹消*〉からなる。

WAIS-IV…全検査 IQ と 4 つの指標得点、補助の得点の一般知的能力指標（GAI）が算出できる。適用範囲は 16 歳 0 か月～90 歳 11 か月。ただし、〈バランス〉〈語音整列〉〈絵の抹消〉については 16～69 歳のみ。各指標は、言語理解指標が〈類似〉〈単語〉〈知識〉〈理解*〉、知覚推理指標が〈積木模様〉〈行列推理〉〈パズル〉〈バランス*〉〈絵の完成*〉、ワーキングメモリー指標が〈数唱〉〈算数〉〈語音整列*〉、処理速度指標が〈記号探し〉〈符号〉〈絵の抹消*〉からなる。

・ p.194 欄外 齊藤環 → 斎藤環

・ p.322・323・324・333-334・339・342-343・344・345・346・347・348・349

本文の全体的な記述、統計データおよび『犯罪白書』を出典とした図等を最新の内容に更新しました（第 12 刷までの内容も、学習上の大きな支障はありません）。

●初版第 14 刷で訂正済み

・ p.108・183・257 WISC を最新の日本版の内容に更新しました。

概要：WISC-V は、10 の主要下位検査と 6 の二次下位検査で構成され、全般的な知能を表す FSIQ、主要指標、補助指標の 3 つの指標レベルで解釈を行うことができる。主要指標は、言語理解指標（VCI）、視空間指標（VSI）、流動性推理指標（FRI）、ワーキングメモリー指標（WMI）、処理速度指標（PSI）、補助指標は、量的推理指標（QRI）、聴覚ワーキングメモリー指標（AWMI）、非言語性能力指標（NVI）、一般知的能力指標（GAI）、認知熟達度指標（CPI）からなる。

・ p.285 18 行目 ブランド・ロイヤリティ → ②ブランド・ロイヤリティ

・ p.312-313・314・316・317

身体障害者福祉法（2022〈令和 4〉年 6 月改正）、知的障害者福祉法（2022〈令和 4〉年 6 月改正）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（2022〈令和 4〉年 5 月改正）、児童福祉法（2022〈令和 4〉年 6 月改正）の最終改正に対応した記述に改めました。

概要：里親支援センターが児童福祉施設の一つとして、2024（令和 6）年度から新たに設置されることが定められた。

母子健康包括支援センターは、今後、こども家庭センターとして展開される。

児童発達支援センターの役割・機能の強化が示され、障害種別によらない発達支援を提供することなど、地域の中核的役割を担うように展開されることとなった。

・ p.319 24 行目 福祉施設の職員に関する主な資格として、「公認心理師」を追加しました。

●初版第 15 刷で訂正予定

・ p.19 8 行目、p.375 人名索引 Young, C. → Young, T.

・ p.83 20 行目 扁桃腺やリンパ腺などの分泌組織 → 扁桃やリンパ節などのリンパ系組織

・ p.99 22 行目 WISC-IV 知能検査 → WISC-V 知能検査

以上

株式会社 実務教育出版